

部局名	上下水道局	所属名	建設課	所属長名	迫 秀信	電 話	483-6157
-----	-------	-----	-----	------	------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	9932		事務事業名称	石綿セメント管更新事業						短縮コード	経常	9932	臨時	
予算区分	会計	64	水道事業会計_資本的支出	款	01	資本的支出	項	01	建設改良費	目	02	改良工事費		
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		水道法							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）														
国の指導や阪神大震災の教訓から石綿セメント管を耐震性に優れたダクトイル鋳鉄管に布設替えする。														
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系		5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして						
石綿セメント管を耐久性・耐震性に優れた耐震管に更新することが急務となっている。						大項目（節）	04	水道						
						中 項 目	01	水道						
						小項目（施策）	03	災害・環境対策の強化						
						細 項 目	03	緊急時対策の推進						
				実施計画の計画事業	4407	配水管等改良事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	石綿セメント管の更新。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成21年度に実際に行ったこと： 実施設計業務委託を7,642m実施。導・配水管改良工事を10,405.52m実施し、石綿セメント管から耐震性に優れたダクトイル鋳鉄管への布設替えを9,143.56m実施した。また、残存している石綿セメント管の内、2,382.1mについては、他の管種であったため残存延長から控除した。							
	※平成22年度に計画していること： 実施設計業務委託を10,580m、改良工事を11,473m、その内10,000mを石綿セメント管を耐震性に優れたダクトイル鋳鉄管への布設替えを計画している。							
意図 （何を狙っているのか）	石綿セメント管を地震・災害に強いダクトイル鋳鉄管へ布設替えし、管路の耐震化を図るとともに管網整備を推進する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	20年度	21年度		22年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	石綿セメント管残延長	m	133,443.8	123,443.8	121,918.14	111,918.14	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	計画布設替え距離	m	8,610.5	10,000	9,143.56	10,000	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	石綿セメント管更新率	%	53.2	56.7	57.3	60.8	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード		9932	事務事業名称	石綿セメント管更新事業			所属名	建設課
			単位	２０年度	２１年度		２２年度	
				実績	計画	実績	計画	
事業費 (A)	財源内訳	国	千円					
		県	千円					
		地方債	千円	300,000	300,000	200,000	400,000	
		一般財源	千円	444,580	464,533	555,566	575,203	
		その他	千円	12,995	21,147	21,060	39,895	
	主な事業費の内訳			委託料 14,910千円 工事費 742,665千円	委託料 15,750千円 工事費 779,930千円	委託料 20,265千円 工事費 756,361千円	委託料 25,515千円 工事費 989,583千円	
	人件費(B)			千円	55,866.2	52,776.3	61,316.1	
トータルコスト(A)+(B)			千円	813,441.2	838,456.3	837,942.1	1,076,414.1	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		石綿セメント管の更新は厚生労働省の指導でも早期完了であり，本事業と結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		石綿セメント管は，平成２１年度末約１２２km残存しているので，今後も早期達成のため有効的に更新事業を進める。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		水道法により，事業の実施は市が行うものと義務づけられている。				
☒ 可能性はない									
☐ 評価対象外事項									
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管に更新し，安定した給水を進める。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２，３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☐ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☒ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
	⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。		☐ 民間委託等		詳細更新計画を見直し，実施設計業務を民間に委託することにより，石綿セメント管の更新延長を拡大する。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し						
			☒ 上記以外の方法						
	⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）		☒ ある		実施設計業務委託等を拡大するための経費の増加。				
			☐ ない						

コード	9932	事務事業名称	石綿セメント管更新事業				所属名	建設課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			設計積算システムと設計業務委託を有効に活用し、早期完了を図るが経費の増大が見込まれる。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☒ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			早期完了を目指すための事業費の増大が見込まれる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☒		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
石綿セメント管更新事業の早期完了。									

所属長コメント	耐震性に優れたダクタイル鋳鉄管にすることにより、安心・安全な水の安定供給の確保，緊急災害時の迅速な対応が必要なことから，設計業務の民間委託等を図り事業の継続をしていく。また，耐用年数が過ぎた水道管が増えていることから計画的に更新をしていく。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			更新計画の見直しについては，推進すべき。設計業務の委託については，費用対効果を検証したうえで，順次推進すべき。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☒ その他									
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☐ 現状のまま継続									